

瓦木中学校校舎改築説明会 議事録

■日時 令和元年（2019年）9月7日 10時00分～11時00分

■会場 瓦木中学校 視聴覚室

- 議題
- 1 総論・概要の説明
 - 2 配置計画（案）

■議事

1 総論・概要の説明

<説明内容>

- ・本市の学校施設は、築30年以上の施設が全体の約7割を占め、また、その内2割は築50年以上が経過している。
- ・校舎の老朽化に対応するには、財政負担の平準化を図る必要があり、学校施設長寿命化計画を策定して校舎を80年間使用することを基本方針とした。
- ・瓦木中学校についても原則80年間既存施設を使用しなければならないが、生徒数の増加に伴う教室不足、バリアフリー化ができていない等の課題があり、バリアフリー化できていない第2棟と普通教室がある第3棟を建て替える。
- ・今回、体育館は建替えないが、第2棟と第3棟を建て替える際に、将来体育館を建て替える際の配置場所を確保しておく必要がある。体育館の配置場所は確定ではないが、近隣住宅への影響や将来計画の柔軟性を考慮して、敷地中央を想定している。
- ・今年度中に校舎建替え事業の大枠となる基本計画を策定する。
- ・令和2年度から令和3年度にかけて設計を行い、並行して既存校舎のアスベスト撤去、第1棟、第4棟、管理棟の空調改修、トイレ改修、工事期間中に使用する仮設校舎の建設を行う。
- ・第1棟、第2棟、第3棟、第4棟にアスベスト建材が含まれており、いずれの校舎も飛散しないように処置済みだが、建物を解体する際は予め撤去する必要がある。改修する校舎を含めたすべての校舎について法令に基づき適正に処理する。
- ・仮設校舎は第1棟南側の運動場に建設し、3階建てとなる。
- ・令和4年度から令和6年度にかけて第2棟と第3棟の解体工事、新校舎の建設工事を行う。
- ・新校舎完成後、外構工事と仮設校舎の撤去を行い、すべての工事が完了するのは令和7年度を見込んでいる。

2 配置計画（案）

<説明内容>

- ・新校舎は第2棟と第3棟が建っている場所にL字型に配置する。
- ・階高は4階になる。
- ・既存よりも階高が高くなることで、影が長く伸びる朝と夕方の時間帯は既存よりも影が大きくなってしまいが、日中は近隣住宅への日陰の影響は限定的で、日常生活に大きな影響を与えるよう

な日陰は発生しない。

- ・新校舎の諸室配置について、普通教室は1階から3階にかけて南側に面して1フロア当たり7～8教室配置したい。特別支援教室は1階に配置する。特別教室は1階から4階に分散して配置する。管理諸室は既存の保健室との連携を考えて2階に配置する。
- ・仮設校舎建設時の工事車両の出入口は正門付近となる。
- ・第2棟と第3棟の解体、新校舎建設時の工事車両の出入口は体育館北東付近となる。
- ・生徒の動線と工事車両の動線が交錯する場合は、ガードマンの配置や工事時間帯の制限等により対応する。

<質疑応答>

住 民：工事車両は東側から出入りするとのことだが、西側道路は工事に一切使用しないのか。

事務局：主要な出入口は東側だが、場合によっては西側から出入りすることもある。西側道路を全く通行しないということではない。

住 民：体育館は地域の避難所にもなっている。今回建て替えないにしても配置場所を検討しておくのは良いことだ。

住 民：大雨が降った際に西側や北側道路が冠水することがあるので、雨水の流れには十分配慮してもらいたい。

事務局：施工範囲内については、できる限り雨水の流れが低減されるような設計をしていきたい。

住 民：生徒数は増加傾向か。

事務局：震災の影響で一度減少した生徒数が再び増加してきており、校区内の住宅開発を抑制している状況がある。

住 民：日陰の影響を受けそうだが、校舎の階高は高くなるのか。

事務局：校舎の階高が3階から4階になる。影が長く伸びる朝と夕方の時間帯は影響があるかもしれないが、日中の洗濯物を乾かしたい時間帯等、日常生活に大きな影響を与える影は発生しない。ただ、影の影響の受け止め方は人によって様々なので、丁寧に説明していきたい。